

2014年9月29日

日本電産の社員が天皇盃第65回全日本男子弓道選手権大会で優勝

日本電産社員（長野技術開発センター所属）平澤敏弘選手が、9月21～23日に東京で開催された天皇盃第65回全日本男子弓道選手権大会で優勝しました。

弓道で最高峰とされるこの競技会に過去3回出場するも、予選敗退。予選では、的中だけでなく、射形、射品、態度などが総合して審査され、40代・50代といったベテラン選手が多数活躍される中、修業年数が短い若手として苦戦してきました。しかし、全国から都道府県代表選手109名が出場した今年、4度目の挑戦で予選を突破し、決勝戦でただ一人全体的中させ優勝を手に入れました。



「次の目標として、まずは10月半ばに開催される国体での頂点を目指します。そして、来年の全日本弓道選手権大会でも天皇盃を手にするために、さらなる修行に励みます。」と力強く語る平澤選手。

同時に「設計エンジニアとして今開発している製品は、極めて高度で繊細な技術を要する難しいもの。それを量産体制に耐えうる品質にまで高めます。」と内なる熱意を静かに燃やし、仕事のターゲットも的中を狙って全力で挑みます。